

平成29年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	サブサイクル時間分解走査トンネル顕微鏡法の開発と応用
研究代表者	重川 秀実
研究期間	平成29年度～平成33年度
科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見	<p>本研究は、テラヘルツレーザー技術をトンネル顕微鏡と融合し、励起電場1サイクル内のダイナミクスを原子レベルの空間ごとに計測する計測法を開発し、その応用を図るものである。</p> <p>応募者は、高い時間分解能と高い空間分解能を合わせ持つ計測法を開発し、局所構造ごとの量子過程の解析を行って高い評価を受けてきた。本研究は、その研究成果に基づき、極限計測法を開発し、分子系、材料系の極微領域のダイナミクスの新現象を探索解明することを目指しており、関連分野に多大なインパクトを与えると期待できる。</p> <p>研究の独創性、重要性及び緊急度から見て、特別推進研究として推進することが適切と考えられた。</p>